

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	15H05710	研究期間	平成27年度～平成31年度
研究課題名	心的イメージの神経基盤の解明	研究代表者 (所属・職) (平成30年3月現在)	神谷 之康 (京都大学・大学院情報学研 究科・教授)

【平成30年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、研究代表者らが世界をリードしてきた脳情報デコーディングに関するもので、脳活動パターンを解析し詳細な心的内容を解読することを目指している。</p> <p>まず、夢の中の物体イメージの脳内表現が、知覚や想起における脳活動パターンと共通性があることを明らかにしており、また、想起内容を画像として再構成することにも成功している。REM睡眠時の脳内表現の解析、物体カテゴリ以外の情報の脳内表現の検討、それら多様なイメージの統合的解析なども、順調にアルゴリズム開発、データ収集など準備が進められており、今後の着実な成果を期待する。</p> <p>それらの成果は国際的に著名な学術雑誌で報告されているほか、社会への発信も多数あり、研究の進捗と成果還元は極めて順調である。</p>		